

GUIDE BOOK 2024

IMAGINE
THE
FUTURE.

AC入試・特別入試

P.02 AC入試

P.04 国際バカロレア特別入試

P.04 国際科学オリンピック特別入試

P.05 海外教育プログラム特別入試

P.05 研究型人才入試



筑波大学
University of Tsukuba

2024年度 学群・学類の定員と募集人員

		個別学力検査等															
学群	学類・専門学群	入学定員	前期日程				後期日程	推薦入試	アドミッションセンター入試	国際バカロレア特別入試		国際科学オリンピック特別入試	海外教育プログラム特別入試	研究型人材入試	帰国生徒特別入試	私費外国人留学生入試	留学生等プログラム特別入試*2
			(総合選抜)入試区分別	(総合選抜)入学者の2年次受入予定人数	(学類・専門学群選抜)					7月募集	10月募集						
人文・文化学群	人文学類	120	文系 128 理系Ⅰ 154 理系Ⅱ 41 理系Ⅲ 90	30	45	20	20	5		若干					若干		
	比較文化学類	80		20	35		20	5		若干						若干	
	日本語・日本文化学類	40		20			14	3		若干							3
社会・国際学群	社会学類	80		20	40		16			若干							4
	国際総合学類	80		20	36		20			若干							4
人間学群	教育学類	35		3	22	3	7		若干	若干						若干	
	心理学類	50		5	26	4	15*1		若干	若干						若干	
	障害科学類	35		3	17	3	12		若干	若干						若干	
生命環境学群	生物学類	80		20	14	18	20	3		若干					若干	若干	5
	生物資源学類	120		20	52	15	27			若干							6
	地球学類	50		13	21	4	12			若干					若干	若干	
理工学群	数学類	40		10	22		8			若干						若干	
	物理学類	60		15	20	10	15			若干	若干					若干	
	化学類	50		13	14	10	13			若干	若干					若干	
	応用理工学類	120		30	49	22	16			若干							3
	工学システム学類	130	33	55	20	20			若干						若干	2	
	社会工学類	120	30	60	15	15			若干						若干		
情報学群	情報科学類	80	20	42		10	8		若干	若干					若干		
	情報メディア創成学類	50	18	20		8	4		若干	若干					若干		
	知識情報・図書館学類	100	45		10	40	5		若干						若干		
医学群	医学類	98	5	44 地域枠*3		44 地域枠*3			3		2	若干					
	看護学類	70	5	40		25		若干	若干						若干	若干	
	医療科学類	37	10	15		12			若干						若干		
体育専門学群	240			140		88	12		若干					若干	若干		
芸術専門学群	100		5	50	5	40			若干					若干	若干	若干	
合計	2,065	413	879	159	537	45	3+	若干	若干	2	若干	若干	若干	若干	若干	27+	

*1 人間学群心理学類の推薦入試は、大学入学共通テストを課します。

*2 「私費外国人留学生特別コース入試」「Japan-Expert (学士) プログラム特別入試」「地球規模課題学位プログラム (学士) 入試」「総合理工学位プログラム (学士) 入試」を合計した数を示します。

*3 地域枠については、国との協議によって、募集の有無及び定員が確定次第、本学ホームページにて公表します。

AC入試（アドミッションセンター入試）

- ✓ 自己推薦型（書類＋面接）の入試です。
- ✓ 自分で課題を見つけ、解決する能力を評価します。
- ✓ 現役生、過年度生、社会人。大学入学資格を持つ方を広く対象としています。

【過去の実績】

	募集人員	志願者数	合格者数
2023年度	45人	306人	41人
2022年度	45人	247人	41人
2021年度	45人	284人	41人
2020年度	68人	446人	43人
2019年度	70人	469人	54人

● アドミッション・ポリシー

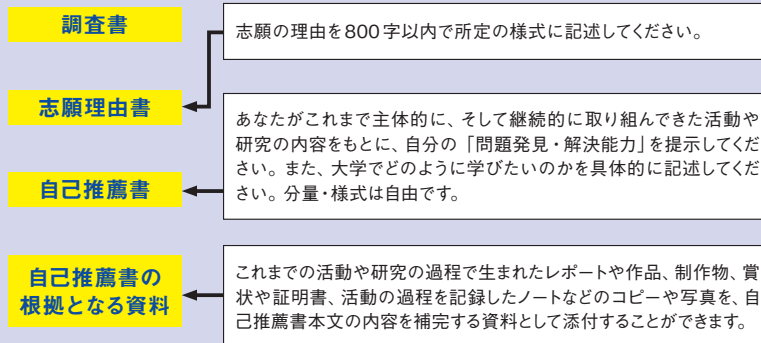
志願者の主体的で継続的な取り組み（最近2年間、又はそれ以上の長期間にわたるもの）から「問題解決能力」を評価します。この入試の合格者にふさわしい志願者がいないと判断した場合は、募集人員どおりに合格者を決定することにはせず、個別学力検査等（前期日程）の募集人員によって、その人員を充足します。以下の各学類・専門学群のアドミッション・ポリシーと併せて評価します（最新のアドミッション・ポリシーは学生募集要項で確認してください）。

● 自己推薦資料テーマ例

近年のAC入試で合格した先輩たちの自己推薦資料テーマです。AC入試は今まで行ってきた活動や研究に基づく自己推薦内容を評価する入試です。これらの例にとらわれず、思い切ってチャレンジしてみましょう。

● 第1次選考（書類審査）

次の書類を審査し、第1次選考合格者を決定します。



● 第2次選考（面接・口述試験）

第1次選考の合格者に対し、30分程度の個別面接を実施します（必要に応じて延長される場合があります）。あなたが「自己推薦書」などで示したことを、あなた自身の言葉でさらに詳しく説明してください。また、大学で学びたいことについて、これまでの学習状況などについてもアピールしてください。

実施学群・学類	アドミッション・ポリシー	募集人員	自己推薦資料テーマ例
人文文化学群	人文学類	5	<ul style="list-style-type: none"> 翻訳エラーの分析 喜界島の伝統行事の継承 ニケタス・コニアテス「ヒストリア」(第3・4章)の翻訳 古文書の読解—讃岐高松藩における火薬製造の研究
	比較文化学類	5	<ul style="list-style-type: none"> 織田作之助作品における「語り」から普遍的文体論に向けての試験 現代も残る「源氏物語」の両説はどちらが良いのか 胎蔵界曼荼羅の研究 説話研究を志した理由—ガーナー伝説の研究を通じて ファッションを通じて誰もが共生共存できる世界を創造する
	日本語・日本文化学類	3	<ul style="list-style-type: none"> 源氏物語における女性の身分と婚姻制度 話し言葉における助詞「ハ」「ガ」の省略できない文末表現の条件 感染症との共生のための文学分析
生命環境学群	生物学類	3	<ul style="list-style-type: none"> ウニ類の移動方向を決める要因 ヤブガラシの生態 災害救済鳩に関する研究 朝顔の開花の研究
情報学群	情報科学類	8	<ul style="list-style-type: none"> 部活動の入退室システムの開発 天文部の活動と脆弱性に関する研究 VRチャットサービスとwebサーバ構築 分身ロボットの製作と開発 R言語による流体シミュレーション インタブリタの実装
	情報メディア創成学類	4	<ul style="list-style-type: none"> オンライン展示: Web個展 天体観測を助ける情報プラットフォームの開発 学校版UberEatsを実現するアプリ開発
	知識情報・図書館学類	5	<ul style="list-style-type: none"> 検索避けした誹謗中傷を自然言語処理を用いて減らす試み ボードゲームメカニクスの細分化と数値化 社会的弱者に配慮した図書館のあり方についての考察 災害情報の伝達とその課題
体育専門学群	A（問題解決型）:ひとつの運動種目における優れた技能を重視し、自主的な実践活動における科学的知識の活用と論理的思考能力を多面的に評価します。 B（競技力型）:抜群の運動技能を有し、日本代表として権威ある国際大会で活躍できる競技力を重点的に評価します。また、基礎学力と表現力についても総合的に評価します。	12	<ul style="list-style-type: none"> サッカーにおけるゴールキーパーの低弾道バントキックの動作解析 走幅跳における勝負強さを身に付けるための方策 日本馬術界の競技環境と競技水準の改善を目標とした馬の動作分析 水球競技に有効なストレッチについて 柔軟性がパフォーマンスに与える影響についての一考察 野球における「流れ」についての研究

AC入試合格者

活躍する
先輩たち

自分がやってきたことの価値を
客観的に評価してもらえる
機会の1つとして気軽に出願してほしい

筑波大学 ビジネスサイエンス系
吉田 光男 准教授

■ 私立近畿大学附属和歌山高等学校出身

Webの検索エンジンを 開発・運用していたことが評価された!?

小 学校の後半から情報ツールに興味を持つようになりました。喘息で半年間特別支援学校に通ったことがあり、そこでパソコンに触れたことがきっかけでした。もともと工作が好きで、電子工作をやってみたくて思っていたのですが、電子部品が気軽に入手できる環境ではなかったこともあり、パソコン1つでできるソフトウェア作りへのめり込んでいきました。

高校生になると、Webサービスを開発・運用までできるようになっていました。当時は、インターネットで検索しようとする、分野別に複数の検索エンジンを使い分けなければならない状況だったので、利便性を高めるため、Webニュースの検索サイトを検索する「メタ検索エンジン」を自作しました。また、オンライン上に散らばっているフリーソフトウェアを検索するサイトを作ったり、ホスティングサービスを手がけたりしていました。

AC入試の存在を知ったのは高校3年生の夏ごろ。もう20年も前のことなので、どうして知ったのかは忘れましたが、その後すぐ、たまたま大阪で入試説明会があり、参加したことを覚えています。何も資格を持っておらず、ただソフトウェアを作っただけで、そのことにどんな価値や意味があるのかは自分ではわかりません。しかし「もしこの入試に合格すれば自分に対し、一定の評価をもらえるということだ」という期待もあり、出願することにしました。

受験準備といっても、志望理由書と活動履歴書を自分なりにまとめた程度で、正直、それほど時間を取られたわけではありません。面接の時も時間が押しすぎてしまい、まともな質疑応答ができなかった記憶があります。こんな緩やかな選考で合格できたのは、当時はまだ珍しかったWebサービスの開発・運用の実績が評価されたのではないかと考えています。

システムを創出することよりも、 分析することに興味の変化

筑 波大学に入学してからは、自分の興味の赴くままに様々な活動を行ってきました。たとえば、学園祭実行委員を2年間務めました。その時に学園祭のインターネット中継を初めて成功させ、現在も続いている基本的な枠組みを整えました。また、フリーランスでソフトウェアの開発も手がけるようになっていたので、当然大学にはあまり行かなくなります。2回の留年を経て、これ以上留年はできないというタイミングで、1人でやってきたソフトウェア開発を他の人にも手伝ってもらうために、有限会社「てくてく」を創業したりしました。

そのため6年間かけて大学を卒業し、修士課程に進学しますが、自分のやりたいことの方角性が少しずつ変わりはじめていることに気づきました。それまで

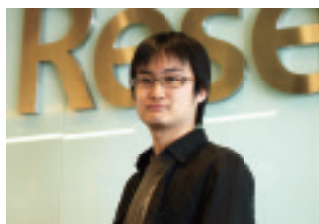
はWebサービスを開発して運用するという「システムの創出」に喜びを見出していました。次第に「データの分析」、つまり、現在、世界で何が起きていて、それがどんなメカニズムで起こっているのかを、どうしたら測定することができるのだろうかという方向へと関心が移っていったのです。

博士課程でどのような姿勢で研究に取り組んだらいいのか悩み、指導教員に相談したところ、「自分で判断するのが難しいなら、日本学術振興会の特別研究員に応募したらどうか」とのアドバイスをいただきました。通れば研究者に向いているということだから、研究者を目指したらどうかというのがその理由でした。その結果、特別研究員に採用されたため、研究者の道に進むことにしました。

社会の分断をどうすれば 防ぐことができるか考えたい

現 在は、ソーシャルメディアの投稿など、主にWebで得られるビッグデータを用いて、社会現象を定量的・実証的に観測・分析する研究に取り組んでいます。最も力を入れているテーマは「社会の分断をどうしたら防ぐことができるか」というもの。たとえば、ウイルス感染症におけるワクチン派と反ワクチン派のように、デマが介在して分断が生まれる時のメカニズムを明らかできないか。反ワクチンの情報に触れ続けると反ワクチンに染まっていくというのは当たり前ですが、これまでの研究によると、反ワクチンの人がたくさん見ていることがわかると、見られた人も反ワクチンになっていく、つまり他者から期待される行動をとるようになっていくということが分かってきました。今後も、詳細な分析を続け、分断や差別が発生するメカニズムを追求していくつもりです。

最後に、AC入試に興味を持っているみなさんには、気軽に出願してほしいとお伝えしたい。自分のことを客観的に評価してもらえる機会の1つとしてこの入試を「使う」くらいの心構えで、チャレンジするのも良いのではないのでしょうか。



博士課程在学中は北京のMicrosoft Research Asiaに9ヶ月間滞在し、国際文化や研究の視野を広げました



学生の中から自分で使う計算機は自分で設置・管理していましたが、教員になっても同じです

国際バカロレア特別入試

全学で実施



筑波大学では、国際バカロレアにかかる活動を支援するとともに、探究心をもって主体的に学び、信念をもって物事に挑戦し、世界的に活躍できる人材を育成するための入学試験として、全学で国際バカロレア特別入試を実施します。

● アドミッション・ポリシー

国際バカロレア資格を取得した者を対象として、主体的に学ぶための知識や思考力、明確な目標をもって学ぶ意欲、また、語学力を含めたコミュニケーション能力などを重視して入学者を選抜します。



国際バカロレア
「10の学習者像」

国際バカロレア資格を取得したものを対象とした1回目（7月募集）と、国際バカロレア資格を取得した者及び取得見込みの者を対象とした2回目（10月募集）の、2回の入試を実施します。1回目（7月募集）に出願した者は2回目（10月募集）に出願することはできません。

【2023年度合格者出願先】 国際総合学類、心理学類、障害科学類、応用理工学類、社会学類、医学類、芸術専門学群

【過去の実績】

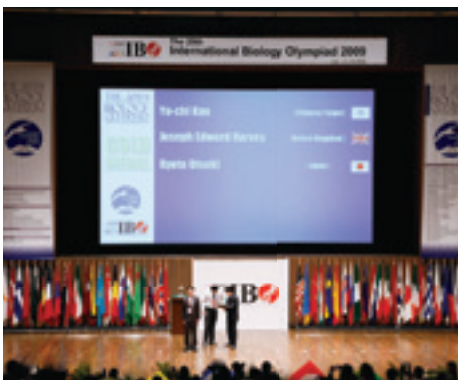
	7月募集		10月募集	
	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数
2023年度	15人	6人	27人	7人
2022年度	4人	2人	34人	9人

1回目(7月募集)	
対象	: 国際バカロレア資格を取得した者
選抜方法	: 第1次選考／書類選考 第2次選考／面接・口述試験
出願期間	: 7月上旬～7月中旬
第1次選考合格発表	: 8月上旬
第2次選考	: 8月下旬
第2次選考合格発表	: 8月下旬
募集学類	: ●教育学類 ●心理学類 ●障害科学類 ●医学類 ●医療科学類

2回目(10月募集)	
対象	: 国際バカロレア資格を取得した者及び取得見込みの者
選抜方法	: 第1次選考／書類選考 第2次選考／面接・口述試験、小論文、実技等 (学類・専門学群ごとに設定)
出願期間	: 10月上旬(スコア提出10月下旬)
第1次選考合格発表	: 10月下旬
第2次選考	: 11月下旬
第2次選考合格発表	: 12月中旬
募集学類	: すべての学類・専門学群

詳細は、筑波大学のホームページをご覧ください。

国際科学オリンピック特別入試



世界の科学技術をリードする人材をめざして

世界中の中等教育課程にある生徒（日本では主に高校生）が参加する、世界的な科学技術コンテストである「国際科学オリンピック」。

国際科学オリンピック特別入試は、同大会に日本代表として選抜された人、代表選考などで一定の成績を収めた人が対象となる入試です。明確な目的を持って学ぶ意欲や計画的に学ぶ意欲を、従来の試験とは違う観点から評価します。

● アドミッション・ポリシー

国際科学オリンピックに出場した者、またはその代表者選考会等において一定の成績を収めた者を対象として、明確な目標を持って学ぶ意欲や計画的に学ぶ意欲を評価して選抜します。

入試概要

【過去の実績】

	志願者数	合格者数
2023年度	3人	1人
2022年度	3人	2人
2021年度	4人	4人
2020年度	5人	2人
2019年度	12人	6人

募集学類

●物理学類 ●化学類 ●情報科学類 ●情報メディア創成学類

対象となるオリンピック

●化学 ●物理 ●情報 ●その他

選抜方法

エントリーシートの内容に基づいて、15分程度の個別面接により行います。

各学類の出願要件は募集要項で確認してください。

海外教育プログラム特別入試

医学群医学類で実施

筑波大学では、海外留学を支援するとともに、探究心をもって主体的に学び、信念をもって物事に挑戦し、世界的に活躍できる人材を育成するための入学試験として、帰国生徒や私費外国人留学生を対象とした海外教育プログラム特別入試を実施します。対象は、アビトゥア、普通バカロレア、GCE Aレベル、SAT、APを履修・受験した者です。

募集学群・学類、募集人員

医学群医学類：2名

選考方法

■第1次選考

出願時に提出された各教科の成績評価や書類等により、第1次選考合格者を決定します。

■第2次選考

第1次選考の合格者に対して面接・口述試験を行い、提出書類等の内容を含めて総合的に判定します。

【過去の実績】

	志願者数	第1次合格者数	合格者数
2023年度	13人	2人	0人
2022年度	18人	4人	1人
2021年度	5人	1人	1人
2020年度	10人	3人	2人
2019年度	8人	3人	1人

アドミッションポリシーや出願資格の詳細については、募集要項で確認してください。

研究型人材入試

医学群医学類で実施



筑波大学では、自然科学において自ら発見した課題に対し、主体的かつ継続的に取り組み、その結果、到達した高い成果を評価する新たな入学者選抜を実施します。対象は、日本学生科学賞等で優秀な成績を収めた者、国際科学オリンピック等で優秀な成績を収め、自らも研究を行った者等の中で、将来研究者を目指す者です。

● アドミッション・ポリシー

広い基礎学力に加えて、自ら発見した自然科学の課題に対し、自主的かつ継続的に取り組み、その結果、到達した高い成果を評価します。また、医学を志向する動機、修学の継続性、研究者としての適性・資質、社会的適応力等総合的な人間性についても評価します。

募集学群・学類、募集人員

医学群医学類：若干名

対象となるコンテスト等

①日本学生科学賞、高校生科学技術チャレンジ、科学の芽賞において一定以上の成績を収めた者、②国際科学オリンピックや科学の甲子園において一定以上の成績を収め、理系の研究を行った者、③理系の学術論文を執筆した者、④番号①と同等又はそれ以上の優れた理系の研究を行った者（詳細は募集要項を参照）。

【過去の実績】

	志願者数	第1次合格者数	第2次合格者数	合格者数
2023年度	6人	3人	2人	0人
2022年度	7人	4人	1人	1人
2021年度	7人	2人	1人	1人
2020年度	4人	1人	1人	0人

選考方法

■第1次選考

出願時に提出された書類等により、第1次選考合格者を決定します。

■第2次選考

第1次選考合格者に対して面接・口述試験および適性試験を行い、提出書類の内容を含めて総合的に判定します。

■最終選考

第2次選考合格者のうち、大学入学共通テストの得点が原則として8割以上の者を合格とします。

1年生から
研究できる!

先導的研究者体験プログラム (ARE)

筑波大学には、入学後も高校時代の研究を継続できる環境があります!



先導的研究者体験プログラム (ARE) は、全学群の1～3年生が応募できる研究活動支援プログラムです。研究計画書を提出し、採択されれば、研究費と研究場所が提供されます。スーパーサイエンスハイスクール (SSH) での研究活動、理科や総合的学習における自主的な課題研究など、大学入学前から科学的な研究を行ってきた人はもちろん、大学進学後には研究活動をしたいと考えていた人も、文系・理系を問わず応募してください。

【過去5年間の申請および採択件数】

	申請数	採択件数(人)
2022年度	52件	42件(42人)
2021年度	63件	58件(58人)
2020年度	62件	58件(58人)
2019年度	95件	77件(77人)
2018年度	88件	56件(63人)

詳しくはWebをご覧ください。
<https://www.are.tsukuba.ac.jp>

AC入試 Q&A

Q. AC入試の選考で重視されるのはどんなことですか

A. 志願者の問題発見・解決能力を、最も重視します。

提出された自己推薦資料の内容をもとに、志願者の主体的・継続的な活動の中で、どのような問題の発見と解決があったのかを評価します。その際、活動の実績そのものを重視するのではなく、志願者がどのような工夫によってその実績を上げたのか、また、その実績をどのように認識しているのかを重視します。すなわち、結果に至る過程や、活動の「質」が重要になります。また、志願者が大学で学びたいことが、志願する学類・専門学群で学習可能か、志願先の研究教育内容と志願者の目的とが合致しているか、ということも重視します。人物評価の入試ではありません。

Q. 問題発見・解決能力のある人とは、具体的にどういう人ですか

A. 主体的な興味や関心から、自分自身の問題意識を育て、その解決に向けて独自の視点から工夫や努力を続けている人です。

例えば、物理や化学の実験、歴史の研究、生物の観察などを続ける過程で、自分自身の問題意識をもち、さまざまに工夫しながらその問題に取り組んできた人です。また、生徒会活動、課外活動、ボランティア活動などの中で独自の問題意識を育て、解決に向けて工夫を続けてきた人です。このような人には「主体的に学ぶ力」という大切な学力が備わっていると考えられます。AC入試では、志願者がそうした活動を続ける中で、何をどう考え、どう行動したのかを評価します。過去の合格者の自己推薦内容はwebページでも公表しています。

<https://ac.tsukuba.ac.jp/examination/report>

Q. 出願するにはコンテストや競技会での入賞歴や何らかの資格取得、検定合格などが必要ですか

A. 必要ではありません。

AC入試は資格や実績そのものを評価する入試ではありません。資格や実績の有無にとらわれず、これまでの自分の活動（研究、課外活動、趣味など）における問題の発見と解決の過程を具体的に提示することが大切です。問題解決の過程で取得した資格や合格した検定、入賞歴などがあれば自己推薦の資料に加えることはできます。その資格や検定が自分の活動の中にどう位置づけられるのか、きちんと説明できることが大切です。ただし、体育専門学群では運動競技の実績を、他の資料とともに重視して評価します。競技の実績がまったくなければ合格はきわめて困難です。

Q. SSH※などの共同研究の成果を自己推薦に利用できますか

※スーパーサイエンスハイスクール

A. 利用してもかまいません。

ただし、その共同研究において志願者本人が担当した部分や、志願者本人の具体的な貢献を、自己推薦書の中で明確に示す必要があります。他のメンバーが担当した部分や、他のメンバーが成し遂げた問題解決とははっきりと区別して、志願者本人の問題発見・解決能力が読み取れるように提示してください。

Q. 国際科学オリンピックでの成績は評価の対象になりますか。

A. AC入試は実績そのものを評価する入試ではありません。

志願者の活動における問題発見・解決の過程を重視して評価します。一方、国際科学オリンピック特別入試は実績を重視して評価します。

Q. 高校の成績（評定平均値）は重視されますか

A. 主として、入学後、支障なく学習できるかどうかを確認するために使われます。

合格者には、結果的に成績がよい人が多くなっていますが、出願要件ではありません。

Q. なぜ、募集時期、選考時期が早いのですか

A. AC入試は、志願者の継続的な活動における問題発見と解決の過程を評価する試験であり、試験当日の偏差値的学力を評価するわけではありません。

したがって高校3年の早い時期でも適切な選抜が可能であると考えられます。「早く進路を決めて、入学までの時間でさらに自分の勉強を進めたい」という志願者を求めているのです。また、早めに実施することで、大学入学共通テストや個別学力検査への影響を最小限にできると考えています。決して早く学生を確保することが目的ではありません。このことは、合格者数が必ずしも募集人員を充たさないことから分かるものと考えています。

Q. 必ず募集人員どおりに合格者が決まりますか

A. いいえ。

ふさわしい志願者がいないと判断した場合は、合格者が募集人員より少なくなり、欠員分は個別学力検査等（前期日程）に振り替えられます。一方、AC入試で募集人員より多く合格することもあります。その場合でも、個別学力検査等（前期日程）の募集人員が減ることはありません。

Q. 筑波大学の推薦入試等と併願できますか

A. 推薦入試や個別学力検査等（前期・後期日程）と併願できます。

国際科学オリンピック特別入試、国際バカロレア特別入試、海外教育プログラム特別入試、研究型人材入試とは併願できません。

国際科学オリンピック特別入試 Q&A

Q. 出願できるのはどのような人ですか？

A. 過去3年間に、国際科学オリンピックに日本代表として選抜された人や、国内予選で好成績を収めた人などです。

詳しくは学生募集要項（6月下旬公表）でご確認ください。

Q. 選考で重視されるのはどんなことですか？

A. 予選や本選での成績に加え、明確な目的意識や計画的に学ぶ意欲、入学後に必要となる学習適応性などです。

調査書やエントリーシート、15分程度の面接などを含めて総合的に合否を判定します。大学入学共通テストは課しません。

Q. 筑波大学の推薦入試等と併願できますか？

A. 推薦入試や個別学力検査等（前期・後期日程）と併願できます。

AC入試、国際バカロレア特別入試、海外教育プログラム特別入試、研究型人材入試とは併願できません。

国際バカロレア特別入試 Q&A

Q. 国際バカロレア最終試験のスコアは何点以上で合格できますか？

A. スコアだけで合否を判定しません。

EE、TOK、CASの成果などに関する提出書類や、面接・口述試験と併せて総合的に判定します。

Q. TOEFL等、英語の4技能検定試験の結果も提出するのですか？

A. 英語を履修していれば必要ありません。

履修していない場合の扱いは教育組織ごとに違いますので、募集要項でよく確認してください。

Q. 10月応募の選考方法はどのようなものですか？

A. 教育組織ごとに設定します。

小論文や実技、適性検査など、学類・専門学群ごとに異なります。募集要項でよく確認してください。

● 入学への歩み



*国際バカロレア特別入試(7月募集、10月募集)の日程については04ページを参照してください。

● 学生募集要項の入手方法

各学生募集要項(願書)は、本学のホームページからダウンロードできます。インターネット出願登録ページはこちらからアクセスできます。(登録は出願期間のみ可能です)

<https://www.tsukuba.ac.jp/admission/undergrad-list-guidebooks/>
(HOME ▶ 入試情報 ▶ 学群入試案内 ▶ 入学案内・募集要項の一覧)

<https://e-apply.jp/e/tsukuba/>

その他、入試に関する資料の請求方法はこちらをご覧ください。

<https://www.tsukuba.ac.jp/admission/undergrad-requests/>
(HOME ▶ 入試情報 ▶ 学群入試案内 ▶ 募集要項(願書)等の請求方法)

ガイダンス・進学相談、過去の「AC入試・特別入試ガイドブック」についてはこちら

▶ <https://ac.tsukuba.ac.jp>

2023年度
筑波大学
オープンキャンパス

実施日程

2023 8/5(土) 8/6(日) 8/11(金)

実施方法、申込時期等については決定次第、本学ホームページで公表します。

その他、アドミッションセンター教員によるオンライン進学相談(大学院への進学相談を除く)や、進学相談チャットボット、各種進学説明会などの情報は、アドミッションセンターのホームページでご確認ください。

<https://ac.tsukuba.ac.jp/>



アドミッションセンター

〒305-8577 茨城県つくば市天王台 1-1-1
TEL.029-853-7385 FAX.029-853-7392
<https://ac.tsukuba.ac.jp>

詳細は筑波大学ホームページへ

筑波大学 で 検索